

2022年12月19日

和歌山市長  
尾花正啓様

日本共産党北部地区委員

委員長 国重

日本共産党和歌山市会議員団

団長 森下佐知子

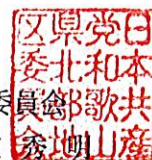
姫田高宏

南畑善哉

中村朝人

坂口多美子

井本有一



## 2023年度和歌山市予算編成にあたっての要望書

平素は市政のため、ご尽力されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスも3年目に入りましたが、未だ終息の兆しが見えません。現在、感染者は高止まりのまま推移しており、第8波の蔓延が危惧されています。さらに今年10月から食料品をはじめ燃料、日用品など生活必需品が軒並み値上げされ、年明けにさらなる値上げが予測されています。このような中で市民の暮らしは、私たちが行ったアンケートへの回答にも表れているように、日々苦しくなっていると思われます。市は地方自治体として、市民の暮らしに目を向けて、必要な手立てを講じることが最優先の課題です。

日本共産党市議団は医療関係者、自営業者、子育て中の保護者など、様々な方々からお聞きした声を新年度予算要求としてまとめました。ぜひとも市民の切実な声を予算に反映していただけるよう、日本共産党北部地区委員会と日本共産党和歌山市会議員団は、市長に以下の重点項目について要望いたします。また、各局にも市民生活に係る切実な要求に関しての要望を行います。これらの施策実現のため、ご尽力されますようお願いいたします。

なお、要望した点については文書にて回答いただけますようお願いいたします。また、市長におかれてはぜひ懇談の場を設けていただけますよう、よろしく願いいたします。

## 重点項目

1. 新型コロナウイルス感染症および新興感染症など感染症対策について
  - ① 保健所・衛生研究所の抜本的体制強化のため、応援体制方針を改め、正規職員の増員、施設・設備の拡充を行っていただきたい。
  - ② 医療機関、高齢者施設、介護施設、保育施設等への感染防止にかかる費用の財政支援を行うこと。
  - ③ PCR検査の無料化を引き続き国に申し入れること。
2. 新水道ビジョンについて
  - ① 市民合意を最重点にすること。
  - ② 市民への説明会を行うこと。
  - ③ 地域からの要望があれば、地域に出向いて説明会を行うこと。
3. 六十谷水管橋崩落・断水の補償について
  - ① ポリタンクを運ぶことで圧迫骨折された方等への医療費補償。
  - ② 影響を受けた事業者への補償について、簡易な手続きで申請できるようにして、追加補償に取り組むこと。
  - ③ 影響を受けた地域すべてに、再度の水道料金の免除。
4. 和歌山バスへの補助金の増額を行うこと。和歌山バスでカバーしきれない地域については、市の運営費用で、地域デマンドタクシーや地域バスの運行をしていただきたい。
5. 高すぎる国民健康保険料を引き下げ、18歳未満の均等割については廃止すること。
6. 加齢による難聴者への補聴器購入費補助と補聴器調整・リハビリへの支援制度を市として早急に作ること。
7. 市内の事業者を守るためにインボイス制度導入中止と消費税を減税するよう、国に対して意見をあげること。
8. 住宅第2課が所管する改良住宅の取り扱いを改め、住宅入居希望者全員に公募すること。
9. 子育て環境改善のため下記の点を早急に行っていただきたい。
  - ① 保育所の待機児童がゼロになっていない現状を早急に改善すること。
  - ② 保育料を無償化すること。
  - ③ 学童保育待機児童をなくすこと。
  - ④ 学童保育の毎週土曜日開設及びトイレ等含め設備充実を進めること。
  - ⑤ 小学校・中学校の給食費を無償化すること。
  - ⑥ 中学校給食の全員給食については、自校方式で行うこと。
10. 健康保険証を廃止してマイナンバーカードを健康保険証化することには反対すること。まず、医療機関と十分に話し合いを行うよう国に意見を上げること。同時に、市自らも医師会などと連携すること。
11. 非核平和都市宣言を行っている市の市長として、核兵器禁止条約への批准を国に強く求めていただきたい。
12. 時間外勤務や有給休暇取得の改善、市民の要求に応えられ、去年の断水のような突発事故や緊急時にも十分に自治体としての力が発揮できるように、応援体制で対応するのではなく、保健所や消防、水道など、市民に命に直結する部署については、必要な人員・体制を常勤職員として増員・配置すること。